

真田図書館サポーターだより 第7号

今年もよろしくお願いします

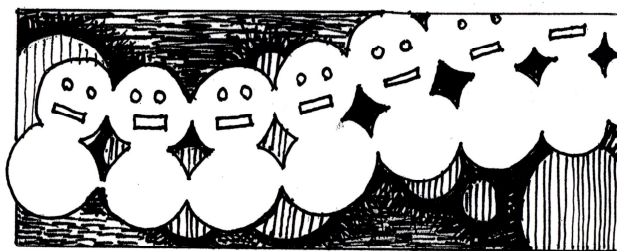
副会長 内田 元子

あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年各部会のほか、いろいろな行事に参加いたしました。9月の曝書には大勢の方にお手伝いいただき、ありがとうございました。高山賢人さんによる二胡のコンサートでは、心温まる演奏に感激しました。今年はどなたの、どんなすばらしい演奏が聴けるのか今から楽しみです。12月の図書館まつりは、お天気に恵まれ大盛況！本のリサイクル市には、1,000冊を超える本が集まり、大勢の方に持ち帰っていただきました。お帰りの際には、サポーター、おはなし広場のメンバー、職員の皆様によるお餅つき大会があり、つきたてのお餅を召し上がっていただきました。真田図書館は、いつもいつも皆様のご協力によって支えられていることに感謝しております。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



・・・「絵本講座」『聞き手になれば見えてくる絵本の力』を開催して

だれかにお話を読んでもらうというのは、いいですね。そんな記憶があるのは幸せです。また、絵本の魅力を子どもたちに伝えることは、素敵な行動です。近頃は、「読み聞かせボランティア」が盛んになり、小中学校の朝読書の時間に活動され、大変喜ばれているとのこと。

今回の絵本講座では、絵本の魅力を聞き手の立場になり、再認識し、読み聞かせの本の選書のしかたや読み方について、ワークショップ形式で実際にやってみる、そして、感想を言い合うと

いう講座を3回(7月7日・21日・8月4日)にわたって上田女子短期大学講師 山浦美幸さんにご指導いただきました。

毎回6人から7人の参加者の方がとても熱心に、かつ、愉快地絵本の世界を楽しんでおられました。参加者の皆さんは、いずれも「お話会」や学校での読み聞かせを実践している方々が多く、和気藹々と進められ、講師の山浦さんのお話にうなづき、時には笑いが起こるほどでした。

絵本の読み聞かせの主役は、読み手で



はなく、絵本そのものが主役です。絵本の魅力を最大限に伝えるように読みましょう。それが、大切なことと学び合いました。なによりも、たくさんの絵本やお話に触れて味わってみることが大事ですね。「絵本だいすき！」の心で、これからも研鑽していきたいと思いました。そうすることで絵本だいすきな子どもたちもいっぱいに育ちますものね。〈図書館 小暮〉

曝書に携わって

業務部会長 小金 敏展

地域のための地域住民による図書館づくりとしてオープンした真田図書館も丸3年が過ぎ、地域に「出会う・学ぶ・変る」を発信しています。

さて、図書館の毎年1回の大切な作業である曝書(特別整理)が、昨年9月に行われました。業務部会はもとより、運営部会の皆様や地域の方々も参加され、初日は午前9人・午後9人、2日目は午前17人・午後14人、延べ49人のご協力を頂き、また差し入れも頂戴しました。誠に有難うございました。

作業内容は、図書館職員のご指導と助言により、班(各2名)に分かれて、概ね以下の通りです。

- (1) 分担された書架から分類番号の若い順に、本を1段ずつ机上に降ろし、硬くしぼった雑巾で書架の拭き掃除をする。
- (2) 本を乾いたタオルで拭き、1冊ずつパラパラと風通しをする。
- (3) 本の分類番号を確認して書架へ戻す。



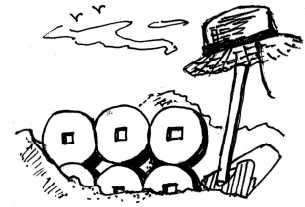
以上の手順の繰り返しですが、中腰の作業もあり、腕や腰が痛くなりましたが、「曝書をお手伝いした」という成就感も味わいました。

ボランティアとは「できる時に・できる人が・できる事をする」であり、楽しく作業することがベースで、何よりも「継続は力なり」と言われています。

地域の皆様、真田図書館サポーターの会に加入され一緒に活動しませんか。お待ちしております。

第3回真田塾を受講して

受講者 小林 通子さん



私が真田氏に興味を持ったのは、8年程前のことでした。

それが「定年後は歴史ガイドのようなことをしてみたい」

という希望に繋がり、「ゲートウェイ」という市民団体の設立や、語部の会への参加となりました。真田氏のことをあらゆる機会を捉えて勉強させていただく中で、真田図書館とサポーターの会主催の「真田塾」にも巡り会えたのです。

今回は寺島先生の「真田氏の出自―真田右馬助」の講演でした。先生はいつも史実に基づき話をしてくださいますが、今回も真田右馬助という幸隆の兄とも本家筋とも考えられ



る人の話で、とても興味深い話でした。「幸隆以前の真田氏歴代についてはきれいに抹消、無視ができたのではないかと資料の中で言われていますが、幸隆が故郷に帰った時のことを考えると、本家筋があれば「なるほど」と納得できることが多々あります。今回も新発見の多い、とても楽しい時間を過ごさせていただきました。「真田塾」の企画に感謝です。次回も今から楽しみにしています。

好評だった第3回図書館まつり

12月7日(土)に、図書館とサポーターの会の協働で第3回図書館まつりを開催し、「本のリサイクル市」、「おはなし広場」、「もちつき大会」を行いました。前年度の反省から時間と会場の見直しをしました。

当日は、天気もよく、全体で350人ほどの来館者でした。また、33人のサポーターの参加でスムーズな運営ができました。

「本のリサイクル市」は、9時30分から正午まで多目的ルームで行いましたが、開始時刻前には50人近くの方が、ドアの開くのを今か今かと待っていました。当日用意した1,390冊の本のうち1,182冊を持ち帰っていただきました。



また、業務部会の皆さんと図書館職員で作成したエコバッグとエコしおりのプレゼントも大勢の

方に持ち帰っていただき、大変盛況でした。

「おはなし広場」は、1 階コミュニティスペースを会場に、10 時 30 分から約 1 時間、サポーターのヒロ・タッキーさんの腹話術と雨宮ちよ子さんの読み聞かせなどに子どもたちが目を輝かせ、そして大きな笑い声で、とても楽しい「おはなし広場」になりました。



「もちつき大会」は、12 升のもち米を臼と杵でつき、271 皿（あんこ、きなこのおもちを 1 つずつ）作り、皆さんに喜んでいただきました。臼でのもちつきを初めて見る方も多かったようです。子どもたちにはもちつき体験をしていただきました。日本のもちつきの文化を知ってもらうことができ、大成功でした。



サポーターの皆さんには、事前の準備から当日の運営、片付けまで本当にお疲れ様でした。

<図書館 飯島>

図書館まつり餅つき大会に参加して

初参加新米サポーター 運営部会 若林 雅一

餅つき大会に協力させていただくことになった。餅つき開始。参加者は他イベントが済み次第駐車場に移動してくるので、それまでに 2 臼ほどついて「あんころもち・黄な粉もち」を用意する。



3 臼目になる頃、大勢の子どもと父兄達が移動してきた。「餅つき体験を希望される方は臼の周りにお集まりください。」とのアナウンスに、父兄達を付き添いに子ども達が列をつくった。杵に手を添えて子どもたちと一緒に「よいしょ」と振り下ろす。5 回で交代だ。「よいしょ、よいしょ」と、父母等も掛け声で応援している。子ども達は、はにかみながらも何か満足そう。臼の周りの大きな人盛りが、杵の動きに合わせて「よいしょ、よいしょ」の大きな合唱に包まれた。会場が一体となっ

たかの様相。つきたてのお餅をほおばった。子ども達にはお餅の味とともに、楽しい思い出として記憶に残ると幸いだ。

還暦をいくつか超えた私でも、未だ小さい頃の記憶が一瞬脳裏をはしることがある。体験の一端が子ども達の感動としていつまでも心に残る。やるからにはそのようなイベントになるよう一生懸命に協力したい。



ボランティア養成講座に参加して

業務部会 真島 めぐみ

昨年11月7日の第1回ボランティア講座に初めて参加させていただきました。「本の保護と修理」の講座ということで、司書の小暮さんや生駒さんに丁寧に教えていただきました。

小暮さんの手は魔法のような手で、透明なシールをするするっと本に貼ってカバーをつけてしまいました。私たちも自宅から持ってきた本にカバーをつけていくのですが、なかなか悪戦苦闘でした。



本の修理では、本の構造を学びつつ、破損してしまった部分の直し方をそれぞれの状態に合ったやり方で行うことを教えていただきました。

図書館の本、一冊一冊に愛情が注がれていることを知り、私たちボランティアも日々の作業の中で、本を大切に扱い、多くの方に気持ちよく本を借りて読んでいただけるように心掛けをしなくてはと感じました。

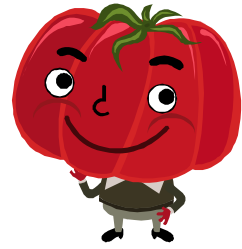
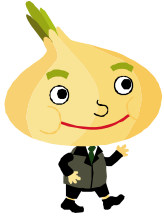
さらに向上できるよう次回の講座でも教えていただきたいと思います。

ヒロ・タッキーの活動がNHK Eテレで紹介されました！

NHK Eテレの「団塊スタイル」(1月17日放送・1月24日再放送)という番組の中で、サポーターのヒロ・タッキーこと滝沢博文さんの「腹話術で感動を届ける」という活動が5分間ほど紹介されました。滝沢さんの元へは、番組を見られた方から大きな反響が寄せられているそうです。

サポーターの仲間として、本当にうれしい限りです。益々の活躍を期待するところです。

乞うご期待



家庭菜園づくり講座開催します！

運営部会長 中澤 盛雄

山宮君夫先生の家庭菜園づくりの講座は好評で、去年は64名の参加という盛況ぶりの講座でした。今年も是非やって欲しいとの声が寄せられ、山宮先生のご都合もありましたが、真田町のご出身ということもあり、お願いしたところ、次の日程で開講することになりましたのでお知らせします。今年度が最後の講座となります。どうぞ大勢の方のご参加をお待ちしています。

☆☆☆ 今年の講座開催日程 ☆☆☆
3月14日・5月9日・7月11日・9月5日
いずれも金曜日で、午後2時からの予定です。



「図書館にできること」vol.4

年末のNHKの番組で72時間大型書店を連続ルポルタージュするというものがありました。さまざまな人々がそれぞれ、大型書店を訪れ、癒されたり、励まされたりして帰っていく姿が画面に映し出されていました。その番組を観ていて感じたのは、書店と図書館では異なる点もあるのですが、「活字の大きな森」というのは相通ずるところではないかと感じました。

真田図書館には、現在4万8千冊の蔵書があります。目的をもって、お目当ての本を目指してくのもいいですが、何の目的も無く図書館を訪れ、書架の間を散歩するのはいかがでしょうか。

2階児童コーナーで暖かな床暖房のカーペットに座り込んで、素敵な絵本のページを開き、空想の世界をランデブー…なんて素敵な時間でしょう。きっと、癒され、励まされてリフレッシュされることでしょう。少しだけ、気持ちが軽く和やかになってお帰りになれるかもしれません。どうぞ、図書館の森に散策にお出かけください。＜図書館 小暮＞



おはなし広場から



毎月第3土曜日の午前10時30分から「おはなし広場」を開催しています。
子どもたちのきらきら輝く笑顔が楽しみです。

・・・お知らせ・・・



♡ ♡ ♡ 《今後の行事予定・会の運営予定》 ♡ ♡ ♡

- ・ 2月8日(土) 第4回真田塾 市場祥子氏「今が大事!心と体を育む食事」
- ・ 2月15日(土) おはなし広場
- ・ 2月20日(木) 第2回業務部会交流会
- ・ 2月27日(木) 第2回ボランティア養成講座(ステップアップ研修)
- ・ 3月1日(土) 運営委員会開催
- ・ 3月8日(土) 第5回真田塾 堀内泰氏「宝永の差出帳と真田町の歴史」
- ・ 3月14日(金) 家庭菜園の楽しみ方講座 山宮君夫氏
- ・ 3月15日(土) おはなし広場
- ・ 3月(未定) 運営部会開催
- ・ 4月5日(土) 業務部会開催
- ・ 4月中旬 運営委員会開催
- ・ 4月19日(土) おはなし広場
- ・ 4月26日(土) 定期総会開催
- (3月おはなし会(図書館職員) 12日・19日・26日)

…編集後記…

「サポーターだより」の編集で、久しぶりにワープロを使用していましたが、耳が痒くなったので耳を掻いていたら、左の耳が腫れ、医者で治療をしている最中に右の耳も腫れあがりました。一時は、「布袋さん」の福耳のようになりました。今年は、年初から何か良いことがあるのかなぁ! (F.H)